

2024 年度 食品衛生外部精度管理調査
黄色ブドウ球菌検査（調査番号 24ST）実施要領

1. 参加検査機関への送付物

- 1) 調査試料：マッシュポテト 2 個（No.1 および No.2、各 約 50 g、冷蔵品）
- 2) 送付状 1 枚
- 3) コード番号のお知らせ 1 枚

2. 実施手順

- 1) 調査項目
黄色ブドウ球菌検査（規格試験）・定性および定量スキーム（定量スキームは任意参加）
JIS Q 17043:2011 (ISO/IEC 17043:2010) 認定項目（認定番号 PTP00050）
- 2) 開始期限
調査試料送付から **2 週間以内** に検査を開始してください。
- 3) 検査方法
調査試料は「**加熱食肉製品（加熱後包装）**」と見立て、貴検査機関の標準作業書（SOP）または通常行っている方法に従って実施してください。
上記内容にて検査が実施できない場合には、貴検査機関で通常行っている別の検査方法で実施してください。
- 4) 調査試料の保管
検査終了時まで **冷凍を避け低温で保管** してください。
- 5) 調査試料の廃棄
貴検査機関の SOP に従って実施してください。

3. 結果報告の手順

検査結果は以下のアドレスよりご報告ください。当財団のホームページにもリンクを設けております。

<https://enquete.cc/q/fdsc24st>



検査結果回答用パスワード：**送付状をご確認ください。**

※ 結果を送信後に報告内容を修正したい場合は、もう一度最初から報告をお願いいたします。
最後に報告された内容を採用いたします。

報告期限 2024 年 10 月 29 日（火）

報告期限を過ぎますと検査結果報告用ページが閉鎖されますのでご注意ください。

4. 結果の公表

1) 結果速報

2024年12月17日 公表予定

当財団のホームページ (<https://www.fdsc.or.jp> トップページ)の公益事業>外部精度管理調査>最新情報)よりご確認ください。

2) 調査結果報告書

2025年3月11日 発送予定

事前にご提出いただいた参加申込書に従い発送いたします。

5. 注意事項

- 1) 調査試料に破損、漏れ等の不備がございましたら、至急主催者連絡先までご連絡ください。
調査試料は到着時に試料温度が上昇していても、品質に問題はございません。
- 2) 定量スキームへの参加(回答)は任意です。
- 3) 参加を中止する場合には、ホームページの「お問い合わせ」よりメールにて検査機関名、ご担当者名、コード番号、調査項目および中止する旨をご入力いただき、提出期限までにご連絡ください。
調査試料発送後の参加中止につきましては調査費用が発生いたします。
- 4) 検査を実施するにあたり、他の参加検査機関との談合およびデータの改ざんは行わないでください。正しい評価結果を得ることができません。談合、改ざんが明らかに認められた場合には、当該結果を解析から除外させていただきます。

6. 主催者連絡先

一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所
公益事業部 食品衛生外部精度管理調査室 たかさか のりこ 高坂 典子 または なかさか としあき 中阪 聡亮

〒257-8523 神奈川県秦野市落合 729 番地の 5

TEL/FAX 0463-82-4755 (直通)

ホームページ <https://www.fdsc.or.jp>

お問い合わせはホームページの「お問い合わせ」よりご連絡ください。

黄色ブドウ球菌検査（調査番号 24ST）：質問内容

検査結果入力フォームでは以下の質問をいたします。システムの仕様上、入力途中の内容を保存することはできません。あらかじめ回答内容をご準備ください。入力内容の確認画面は印刷等により年度末に調査結果報告書が届くまで保管くださいますようお願いいたします。

「その他」を選択した場合には詳細をご入力ください。

- [Q1] 検査機関の情報（コード番号、検査機関名、ご担当者 部署・氏名）
- [Q2] 黄色ブドウ球菌検査（定性検査）の判定結果（No.1:陽性/陰性、No.2:陽性/陰性）
- [Q3] 主担当者の黄色ブドウ球菌検査に係わる経験年数（月数は切り捨て）
① 0～1年 ② 2～4年 ③ 5～9年 ④ 10年以上
- [Q4] 検査期間（調査試料を採取した日、検査が終了した日）
- [Q5] 試料採取量
① 10g ② 25g ③ その他
- [Q6] 最終判定に使用した分離培地
① 卵黄加マンニット食塩寒天培地 ② マンニット食塩寒天培地 ③ 食塩卵寒天培地
④ ベアードパーカー寒天培地 ⑤ X-SA 寒天培地 ⑥ その他
- [Q7] 最終判定に使用した分離培地の培養装置の設定温度
① 35℃ ② 37℃ ③ その他
- [Q8] 最終判定に使用した分離培地の培養時間
① 24時間程度 ② 48時間程度 ③ その他
- [Q9] 併用した分離培地（複数選択可）
① 併用培地なし ② 卵黄加マンニット食塩寒天培地 ③ マンニット食塩寒天培地
④ 食塩卵寒天培地 ⑤ ベアードパーカー寒天培地 ⑥ X-SA 寒天培地 ⑦ その他
- [Q10] コアグラゼ試験
① 実施 ② 実施せず
- [Q11] グラム染色
① 実施 ② 実施せず
- [Q12] クランピングファクター試験（スタフィロ LA「生研」を含む）
① 実施 ② 実施せず
- [Q13] 簡易同定キット（スタフィロ LA「生研」等の凝集反応試薬は含めない）（複数選択可）
① 実施せず ② API STAPH ③ IDテスト・SP-18 ④ BBLクリスタル GP ⑤ その他
- [Q14] 検査結果判定の根拠（陰性の場合には陰性と判定した段階）

[Q15] 【任意項目】定量スキームへの参加

- ① 参加する → [Q16] へ ② 参加しない → [Q22] へ

[Q16] 陽性と判定した試料の黄色ブドウ球菌検査（定量検査）の結果

（小数第3位を四捨五入した指数表示）

例) 1.10×10^5 ※単位(/g)は不要です。半角でご入力ください。

[Q17] 定量検査に使用した培地

- ① 卵黄加マンニット食塩寒天培地 ② マンニット食塩寒天培地 ③ 食塩卵寒天培地
④ ベアードパーカー寒天培地 ⑤ X-SA 寒天培地 ⑥ その他

[Q18] 定量検査に使用した培地のタイプ

（ペトリフィルム、コンパクトドライ、Easy Plate (Medi・Ca) 等は「③フィルム培地」に含める）

- ① 粉末培地 ② 生培地 ③ フィルム培地 ④ その他

[Q19] 定量検査に使用した培地のメーカー

- ① 栄研化学 ② 島津ダイアグノスティクス（旧：日水製薬） ③ Merck ④ 日研生物医学研究所
⑤ 極東製薬工業 ⑥ 関東化学 ⑦ OXOID ⑧ アテクト ⑨ コージンバイオ
⑩ bioMérieux ⑪ Becton, Dickinson and Company ⑫ その他

【 [Q17] で ①、③、④ を選択し、[Q18] で ① を選択した場合 】

[Q20] 定量検査に使用した培地に添加した卵黄

- ① 培地メーカー指定の添加剤 ② 市販品（培地用） ③ 市販品（食用） ④ 自家調製
⑤ その他

[Q21] [Q16] の報告値を算出した際の操作・計算の過程

[Q22] 調査試料の破損の有無（[Q23] 具体的な破損の状況）

[Q24] 調査試料の送付方法が適切か不適切か（[Q25] 具体的な問題点）

[Q26] 黄色ブドウ球菌検査用調査試料についてのご意見、ご要望

[Q27] その他ご意見

※ 入力内容の確認後に、報告受領確認メールの受信用メールアドレスの入力があります。